

資料—2

「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定状況

1. 尾原ダム水源地域ビジョン策定の作業状況
2. さくらおろちを活性化する会での検討結果
3. さくらおろちを活性化する会の今後の検討内容
4. 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

平成25年3月13日

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

1. 尾原ダム水源地域ビジョン策定の作業状況

年月	尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会 さくらおろちを活性化する会	議事事項等
平成24年度	9月 第1回策定委員会【9/20】 ↓ 尾原ダム水源地域ビジョンニュース【9/24】	・流域、水源地域の概要 ・水源地域の課題 ・理念、基本方針 等
	10月 第1回活性化する会【10/23】 ↓ 行政間会議【10/12】	・水源地域ビジョンの説明 ・『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』の説明 ・基本理念・地域の目標像・基本方針の事務局案の説明 ・守りたい資源、活かしたい資源、プロジェクトの抽出（3班で討議）
	↓ 尾原ダム水源地域ビジョンニュース【10/30】 ↓ アンケート調査・資料配布【10/30】	【配布資料】 ・「第1回尾原ダム水源地域ビジョン作業部会（仮称）」議事概要 ・尾原ダム水源地域ビジョンニュース 【アンケート内容】 ・尾原ダム水源地域ビジョン作業部会（仮称）の組織名称
	↓ 行政間会議【11/8】 ↓ 第2回活性化する会【11/15】	・プロジェクトの追加抽出及び確認 ・プロジェクトの体系化（案）の提示 ・プロジェクトの内容の整理（案）の提示
	↓ 尾原ダム水源地域ビジョンニュース【11/28】 ↓ アンケート調査・資料配布【11/28】	【配布資料】 ・「第2回さくらおろちを活性化する会」議事概要 ・尾原ダム水源地域ビジョンニュース 【意見照会】 ・プロジェクトの体系化（案）及び内容（案） 【アンケート内容】 ・先行プロジェクト選定アンケート
12月	↓ 第3回活性化する会【12/12】 ↓ 尾原ダム水源地域ビジョンニュース【12/25】	・プロジェクト内容（全体）の決定 ・プロジェクトの優先順位づけ ・先行プロジェクトの選定及び決定 ・先行プロジェクトのとりまとめフォーマットの確認

年月		尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会 さくらおろちを活性化する会	議事事項等
平成24年度	1月	行政間会議【1/10】 第2回策定委員会【1/17】	【審議事項】 ・「第1回委員会」委員意見への対応状況 ・尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の目標像・基本方針の報告 ・「第1回委員会」以降の取組経過 ・尾原ダム水源地域ビジョン策定の作業状況の報告 ・尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト（案）の審議 ・尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期（案）の審議 ・先行プロジェクトのとりまとめフォーマット（案）の審議 ・広報の取組状況の報告
		アンケート調査・資料配布【1/22】 【アンケート】 ・1/22(月)～1/28(月)アンケート調査（さくらおろちを活性化する会参加者） ・1/30～2/1 意見照会（行政間） 尾原ダム水源地域ビジョンニュース【1/29】	【配布資料】 ・「第3回さくらおろちを活性化する会」議事概要 ・尾原ダム水源地域ビジョンニュース 【アンケート内容】 ・先行プロジェクトの取組内容等
	2月	行政間会議【2/6】 第4回活性化する会【2/6】 尾原ダム水源地域ビジョンニュース【2/13】 さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議【2/27】 行政間会議【2/27】	・先行プロジェクトのとりまとめ（内容、実施項目、役割分担） ・湖面利用の手引き（案）
	3月	第3回策定委員会【3/13】 「湖面利用の手引き」等公表	【審議内容（案）】 ・先行プロジェクトのとりまとめ 等 ・湖面利用の手引き（案）の審議
平成25年度	4月～ (夏頃)	第5回活性化する会【予定】 第4回策定委員会【予定】 「尾原ダム水源地域ビジョン」策定・公表	・水源地域ビジョン（素案） ・推進体制 【審議内容（案）】 ・水源地域ビジョン（案）の審議 ・推進体制の審議

2. さくらおろちを活性化する会での検討結果

(1) 守りたい資源・活かしたい資源等の抽出【第1回・第2回】



【A班】



【B班】



【C班】

(2) 取組内容の抽出（抜粋）【第1回・第2回】

大分類	小分類	守りたい資源	課題	アポイント番号	取組	班
I. 環境の保全	(1) 森林	- 風景や自然を守っていききたい。 - 森林を保全し、自然環境を守っていききたい。 - きれいな星空が見られる自然環境を守っていききたい。	- 雑草、竹、クズの除去等の活動が欠かれないが、地元の住民は高齢化しており、技術力、時間や努力、お金がなくて困っている。 - 山林の崩壊等が進んでいる。	(1)-1 (1)-2 (1)-3 (28)-1 【参考】	●広葉樹の植林や維持管理への森林ボランティアの動員を考えている。 ●環境学習を開催し意識啓発を図りたい。 ●企業のCSR活動（社会貢献活動）と連携する。 - 間伐材の対応には、農林補助事業が使えるのではないかな。 ●意識づけのための学習会や自然観察会などを行う。	A
		●豊かな森の恵みや緑豊かな自然、自然景観を守りたい。	●意識啓発が必要。地域住民全員で守っていくという意識づけをしっかりと行うことにより、環境保全と更なる改善につながっていく。 ●間伐など人工林の整備。人工林は放置すると荒れてくる。	(1)-3		C
	(2) 水質	●斐伊川の水質をよくしたい。 ●おいしい水、きれいな水を守り、活かしたい。 ●尾原ダムの水など、水資源を守りたい。 ●河川の水質を守りたい。 ●上流域だけでなく、下流域を含めた水質環境を守りたい。	●ダムに流入した土砂等が底にたまって水が黒く見える。 ●下水道の整備が不十分であるため、水質悪化を懸念する声がある。	(1)-1	●水質を管理するために上流域の山を整備し、流れ込む水をきれいにしたい。	A
				(29)-1	●下流域の水質を守るためにも、下流域の支援をお願いしたい。	B
	(3) 生物の生息環境	●クマタカなどの希少種生物が生息している。 ●山や川に生息している生物を守りたい。	●ブルーギル等の外来種が侵入することで、希少な魚類が減少してしまう。 ●希少種が生息していることを公表すると、採捕目的の人が来てしまい生息環境が悪化する。		●(琵琶湖で行われている事例を参考として) 地域住民が油を出さない活動を行いたい。	A
		●タヌキ、サル、鳥、ホタル、ハンザケ(オオサンショウウオ)などの森や川に動物や生物を守りたい。	●サイクリングロードにクマが出ないようにするための、人間と動物の住み分け問題について考える必要がある。	(3)-1	●(動物と共生するための) 安全対策が必要である。	B
		●ダム整備に伴う護岸整備に伴い、ホタルなどの生き物が減少した場所があり、守っていききたい。		(3)-2	○ホタルの保全活動は既に実施されている。	C
				(3)-2	○餌となるカワニナの減少を防ぎ、放流して増やす。	
	(4) 農地	●農地を守っていききたい。		(3)-3	●カワニナの生息に適した水質(水質階級B:少し汚い程度の水質)を確保することを通じ、水質と生き物との関係性の学習につながる。	
				(3)-3	●ダムや周辺の河川など、子どもたちの夏休みの研究や自然観察会のフィールドや題材にすることもできる。	
			●湯村地区では、高齢化などにより田んぼの維持管理が困難となりつつあるため、その改善が必要である。	(4)-1	○維持が困難な農地は皆で耕作する仕組みづくりに取り組んでいる。	C
				(6)-1	●地域外から来た人に荒れた地域を見せないような取組をしたい。例えば、耕作できなくなった農地にミックスフラワー(数種類の花が色とりどりに咲く種)を植えて景観を向上させ、来訪者に来て楽しんでもらう取組などを実施したい。	
II. 景観保全・整備	(5) 水辺の景観	●ダム下流の景色を守りたい。 ●湖面の風景を守っていききたい。 ●ダム湖でこれだけ開けた風景のところは少ないと思うので守り活かしたい。	●景観を守るためには、木の伐採、維持管理が必要である。		●農地を後世に繋げていくために、地域内や上下流域での交流を深め、皆で守る。	A
				(29)-2	●農業体験ツアーを開催していく。	
	(6) 農村や周辺の景観	●四季の風景(春の青葉、秋の紅葉)を大切にしたい。		(4)-2		A

凡例 ○: 既存の取組、●: 新規の取組

(3) プロジェクトの体系化【第2回】

基本方針	大分類	プロジェクトの分類(26分類)	プロジェクト(55プロジェクト)
水源地域を結び、拓く	I 人材の活用	(1) 人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用 (1)-2 接客技術(おもてなしの心)の向上 (1)-3 教育機関(大学等)との連携
	II 組織の整備	(2) 組織の整備	(2)-1 関連事業・組織との連携 (2)-2 リーダーの育成
	III 企業との連携	(3) 企業との連携	(3)-1 企業との連携(CSR活動)
	IV 斐伊川流域圏の連携	(4) 斐伊川流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援 (4)-2 上下流交流 (4)-3 流域圏交流
	V 情報発信	(5) 情報発信	(5)-1 情報発信の促進(ホームページ、カレンダー、案内標識) (5)-2 フィルム・コミッションの推進
流域圏の恵みの源を守り、育む	VI 環境の保全	(6) 森林の保全・維持管理活動	(6)-1 森林の整備・管理 (6)-2 ボランティア活動の実施
		(7) 河川の水質の保全	(7)-1 水質の保全 (7)-2 ヒートアップの整備
		(8) 生物の生息環境の保全	(8)-1 生息環境の保全(動物、植物) (8)-2 外来種、害獣、害鳥対策
		(9) 環境学習会等の開催	(9)-1 環境学習会の開催(森林、水質・水生生物、ホタル) (9)-2 体験プログラムの企画・開催(間伐・農業体験)
	VII 景観保全・整備	(10) ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用(ワカサギ、のぼり) (10)-2 クスやカスラ等の対策・駆除、竹ボットの管理 (10)-3 ダム湖周辺の植栽(サクラ、ドウダンツツジ)
		(11) 農村や周辺の景観の保全・改善	(11)-1 農地保全の仕組みづくり (11)-2 農村景観の向上(ミックスフラワー)
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	VIII 自然環境の活用	(12) 森林の活用・活用	(12)-1 森林の利用促進(森林セラピー・森の保育園)
	IX ダム周辺の既存施設の活用	(13) ダム本体の活用	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘(ライトアップ、クレスト放流等) (13)-2 日本一プロジェクト
		(14) サイクリング施設の活用	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR(認定コース、ショートコース) (14)-2 レンタサイクルの実施 (14)-3 サイクリングコースの改善
		(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面利用の活性化(水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験) (15)-2 さくらおろち湖の魅力発信 (15)-3 釣り利用(PR・大会・施設整備)
		(16) 既存施設等の活用	(16)-1 芝生広場等の利用促進 (16)-2 農村研究施設の利用促進 (16)-3 ホースセラピーの利用促進 (16)-4 街道・登山道の活用(段梯街道、岩伏山) (16)-5 利用ルールの策定・周知(湖面利用の手引き等) (16)-6 新たな活用策の検討(星空観察会、ドックラン等) (16)-7 イベントの企画・立案(交流、花火等)
		(17) 神話の継承・活用	(17)-1 出雲神話の活用・PR(マップ作り、関連ツアー)
	X 歴史・文化の継承	(18) 郷土料理の継承・活用	(18)-1 郷土料理の継承・活用(焼豆腐、イノシシ料理等) (18)-2 モニターツアーの開催
		(19) 地域文化の継承・活用	(19)-1 古民家の活用
		(20) 新たな魅力・資源の発掘・活用	(20)-1 温泉の活用(スタンプラリー)
	XI 新たな魅力・資源の発掘	(21) 「地域全体」の発掘・活用	(21)-1 観光資源の再整理 (21)-2 地域体感ツアーの開催
		(22) 漁業資源の育成と活用	(22)-1 漁業資源の創出(ワカサギの放流)
		(23) 特産品の開発・販売	(23)-1 特産品の開発・販売促進
	XII 交流イベント(既存)の開催	(24) 湖面イベントの開催	(24)-1 ボート大会の活性化
		(25) 湖畔イベントの開催	(25)-1 音楽イベントの開催 (25)-2 サイクリングイベントの開催 (25)-3 さくらおろち湖祭りの開催
		(26) 周辺イベントの開催・継続	(26)-1 そばうち交流会の開催 (26)-2 トレイルランニングの開催

赤字：新規プロジェクト(36)、黒字：既存プロジェクト(19)

(4) プロジェクトの内容の整理(抜粋)【第3回】

基本方針2：流域圏の暮らしや産業の恵みの源である水源地域の森や水などの自然環境を守り、育む

斐伊川流域圏の暮らしや産業の恵みの源である水源地域の森や水などの自然環境を守り、育んでいます。

大分類Ⅵ環境の保全

プロジェクトの分類(6)森林の保全・維持管理活動

プロジェクト(案)	実施時期	目的	場所	取組内容	さくらおろちを活性化する会での意見	提案班
(6)-1 森林の整備・管理	短期 (先行)	森林の保全 上流部の森林の整備	水源地域の森林	- 斐伊川や流域の河川の水質を保全するために、<u>上流部の森林の整備</u>を推進します。 - 奥出雲町が実施している「<u>バイオマスタウン構想</u>」と連携し、竹林や林地域材のチップ化を推進します。	- 水質を管理するために上流部の山を整備し、流れ込む水をきれいにする。 - 広葉樹の植林や維持管理を行う。 - バイオマス事業では、今年から奥出雲町で機械を導入して竹チップの製造を実施している。	A
(6)-2 ボランティア活動の実施	中期	森林ボランティアによる森林の保全	水源地域の森林	- 下流域の住民や小学生の森林ボランティアによる森林の片刈りや間伐、里山の手入れなど、<u>森林の保全の仕組み</u>を検討していきます。 - 降雨後にさくらおろち湖へ流入する流水を<u>ボランティアが回収する仕組み</u>を検討します。	- 森林ボランティア等のボランティアによる片刈りを実施する。 - 流木回収作業をボランティアで可能か検討する。 - 降雨直後に、ダム湖の流水を提供する。	A B A B B

プロジェクトの分類(7)河川の水質の保全

プロジェクト(案)	実施時期	目的	場所	取組内容	さくらおろちを活性化する会での意見	提案班
(7)-1 水質の保全	後期	水質の保全	各家庭	- 水質の保全を図るため、<u>家庭から出る廃食油の回収・リサイクル</u>などを<u>推進</u>します。 【参考取組例】他地域で実践されている活動を参考とし、各家庭に水質の保全を広げていきます。	琵琶湖で行われている事例を参考として)地域住民が油を出さない活動を行う。	B
(7)-2 ビオトープの整備	中期	水質浄化 環境保護の啓発活動	さくらおろち湖周辺	さくらおろち湖に流入する水質の改善や、環境保全に対する地域住民の意識向上のために、さくらおろち湖周辺に<u>ビオトープ</u>を整備します。	下流域の水質浄化と環境保護の啓発を兼ねて、ダム湖辺にビオトープを整備する。	A

プロジェクトの分類(8)生物の生態環境の保全

プロジェクト(案)	実施時期	目的	場所	取組内容	さくらおろちを活性化する会での意見	提案班
(8)-1 生態環境の保全(動物、植物)	短期 (先行)	生態環境の保全	ダム周辺の河川 (三沢川など) ダム周辺地域	- 水源地域に生息するホタルの生態環境を保全するために、河川の清掃活動や、餌となるカワニナの放流などを継続していきます。 - 河川環境の保全のシンボルであるマシツツジなどの動植物の保全活動や、人と動物が共生するための安全対策の検討も進めていきます。	- 動物と共生するための安全対策が必要である。 - 河岸のマシツツジの保全を検討する。 - ホタルを守るため、三沢川の清掃を実施する。 - 実施されているホタルの保全活動を継続する。 - 餌となるカワニナの減少を防ぎ、放流して増やす。	B A A B C
(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策	短期 (先行)	外来種対策 害獣、害鳥対策	さくらおろち湖	- ブラックバスを始めとした外来種の放流が法律により禁止されていることを周知していきます。 - 外来種を捕獲するための仕組みづくりを検討していきます。 - 森林や漁業資源に被害をもたらすカワウなどの害獣、害鳥対策を試行していきます。	- 外来種を捕獲する動機付けの仕組みを検討する。(例：捕獲によりポイントがたまり、何かと交換できる仕組み) - カワウの害獣対策の実施を検討する。	A A A

(5) 先行プロジェクトの抽出【第3回】

基本方針	大分類	プロジェクトの分類 (26分類)	プロジェクト (55プロジェクト)	取組状況
水源地域を結び、拓く	I 人材の活用	(1) 人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用 (1)-2 接客技術（おもてなしの心）の向上 (1)-3 教育機関（大学等）との連携	【新規】 【新規】 【新規】
	II 組織の整備	(2) 組織の整備	(2)-1 関連事業・組織との連携 (2)-2 リーダーの育成	【新規】 【新規】
	III 企業との連携	(3) 企業との連携	(3)-1 企業との連携（CSR 活動）	【既存】
	IV 斐伊川流域圏の連携	(4) 斐伊川流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援 (4)-2 上下流交流 (4)-3 流域圏交流	【新規】 【既存】 【新規】
	V 情報発信	(5) 情報発信	(5)-1 情報発信の促進（ホームページ、カレンダー、案内図等） (5)-2 フィルム・コミッションの推進	【新規】 【新規】
流域圏の恵みの源を守り、育む	VI 環境の保全	(6) 森林の保全・維持管理活動	(6)-1 森林の整備・管理 (6)-2 ボランティア活動の実施	【新規】 【新規】
	(7) 河川の水質の保全	(8) 生物の生息環境の保全	(7)-1 水質の保全 (7)-2 ビオトープの整備	【新規】 【新規】
			(8)-1 生息環境の保全（動物、植物） (8)-2 外来種、害獣、害鳥対策	【新規】 【新規】
			(9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホタル） (9)-2 体験プログラムの企画・開催（間伐・農業体験）	【既存】 【既存】
	VII 景観保全・整備	(10) ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（ワカサギ、のぼり） (10)-2 クズやカラス等の対策・駆除、竹ボットの管理 (10)-3 ダム湖周辺の植栽（サクラ、ドウダンツツジ）	【新規】 【新規】 【新規】
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	VIII 自然環境の活用	(11) 農村や周辺の景観の保全・改善	(11)-1 農地保全の仕組みづくり (11)-2 農村景観の向上（ミックスフラワー）	【新規】 【新規】
	IX ダム周辺の既存施設の活用	(12) 森林の活用・活用	(12)-1 森林の利用促進（森林セラピー・森の保育園）	【新規】
		(13) ダム本体の活用	(13)-1 尾瀬ダムの魅力発掘（ライトアップ、クリスマス等） (13)-2 日本一プロジェクト	【新規】 【新規】
		(14) サイクリング施設の活用	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR（認定コース、ショートコース） (14)-2 レンタサイクルの実施 (14)-3 サイクリングコースの改善	【新規】 【新規】 【新規】
		(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面利用の活性化（水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験） (15)-2 さくらおろち湖の魅力発信 (15)-3 釣り利用（PR・大会・施設整備）	【新規】 【新規】 【新規】
		(16) 既存施設等の活用	(16)-1 芝生広場（多目的広場）の利用促進 (16)-2 農村研究施設の利用促進 (16)-3 ホースセラピーの利用促進 (16)-4 街道・登山道の活用（殿様街道、岩伏山） (16)-5 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等） (16)-6 新たな活用策の検討（星空観察会、ドックラン等） (16)-7 イベントの企画・立案（交流、花火等）	【新規】 【新規】 【既存】 【既存】 【新規】 【新規】
	X 歴史・文化の継承	(17) 神話の継承・活用	(17)-1 出雲神話の活用・PR（マップ作り、関連ツアー）	【新規】
		(18) 郷土料理の継承・活用	(18)-1 郷土料理の継承・活用（焼豆腐、イノシシ料理等） (18)-2 モニターツアーの開催	【既存】 【既存】
		(19) 地域文化の継承・活用	(19)-1 古民家の活用	【既存】
	XI 新たな魅力・資源の発掘	(20) 新たな魅力・資源の発掘・活用	(20)-1 温泉の活用（スタンプラリー）	【既存】
		(21) 「地域全体」の発掘・活用	(21)-1 観光資源の再整理 (21)-2 地域体感ツアーの開催	【新規】 【新規】
		(22) 漁業資源の育成と活用	(22)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流）	【既存】
		(23) 特産品の開発・販売	(23)-1 特産品の開発・販売促進	【新規】
	XII 交流イベント（既存）の開催	(24) 湖面イベントの開催	(24)-1 ボート大会の活性化	【既存】
		(25) 湖畔イベントの開催	(25)-1 音楽イベントの開催 (25)-2 サイクリングイベントの開催 (25)-3 さくらおろち湖祭りの開催	【既存】 【既存】 【既存】
		(26) 周辺イベントの開催・継続	(26)-1 そばうち交流会の開催 (26)-2 トレイルランニングの開催	【既存】 【既存】

茶色字：先行プロジェクト（案）43件

(6) プロジェクトの優先順位づけ【第3回】

[illegible]

※黒字：既存プロジェクト
赤字：新規プロジェクト

「水源地域を結び、拓く」に係るプロジェクト

「流域圏の恵の源を守り、育む」に係るプロジェクト

さくらおろちの魅力を磨き、活かす」に係るプロジェクト

(7) 先行プロジェクトのとりまとめフォーマットの検討【第3回】

先行プロジェクト1：■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■プロジェクト

[illegible]

(8) 先行プロジェクト実施計画表【第4回】

先行プロジェクト1

(1)-1 人材の発掘・活用

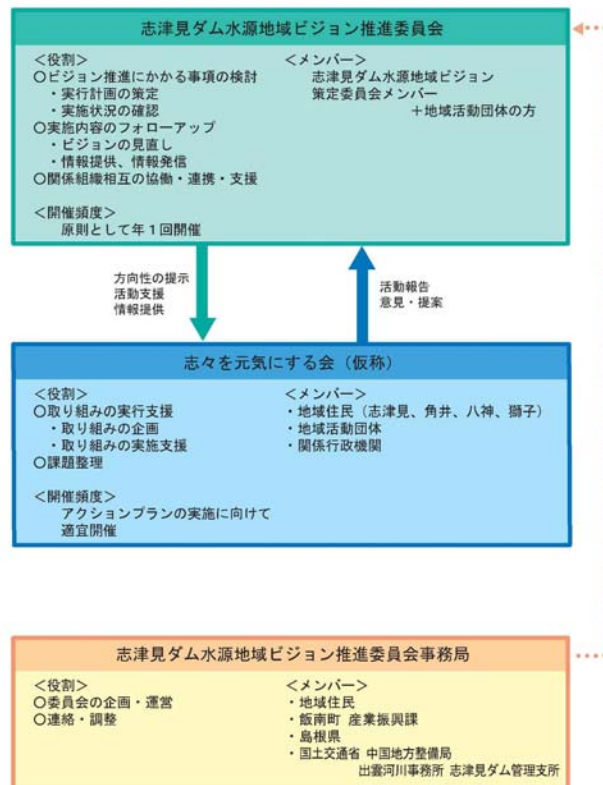
A.取組内容（全体）	目的	・人材の活用 ・人材の育成						
	場所	・水源地域						
	内容	①水源地域の活性化に向けた技術や、知識、知恵を持った人を発掘します。 ②発掘した人材を有効活用するための人材バンク（データベース）の構築を検討します。						
B.1年目に取組むべき事項		取組事項	状況	1年目に取組む事項	実施主体			
		①技術や知識、知恵を持った人の発掘	新規	○	（実施段階で検討）			
		②人材を有効活用するための人材バンク（データベース）の構築	新規	✕				
C.実施主体								
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2						備考 （必要な支援内容、留意事項等）
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省	
	企画立案	●	●	●	●	●	●	
	①人材発掘	●	●	●	●			シルバー人材センター等との連携
	②-1 人材バンクの構築	●	●	●	●			
	②-2 人材バンクの活用	●	●	●	●	●	●	
	広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト								

注1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織など

注2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

3. さくらおろちを活性化する会の今後の検討内容

(1) 推進体制【出展：志津見ダム水源地域ビジョン】



(2) 水源地域ビジョン（素案）【出展：志津見ダム水源地域ビジョン】

（表紙デザイン）



（冊子化）



3. 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

尾原ダム水源地域ビジョンニュース

第5号 (H25.1.29発行)

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

第2回「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催しました！

◆平成25年1月17日(木)に「第2回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を国土交通省尾原ダム管理支所で開催しました。

◆第2回委員会では、全委員の出席のもと

- 尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念、地域の目標像、基本方針の報告
- 尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト(案)の提案・審議
- 尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期(案)の審議 など

について実施しました。

◆尾原ダム水源地域ビジョンの「基本理念」、「地域の目標像」、「基本方針」が「さくらおろち」を活性化させる会」での議論を踏まえ、最終版が報告されました。

◆尾原ダム水源地域ビジョンとして、55のプロジェクト(既存19件、新規36件)が承認されるとともに、『先行プロジェクト(1年目から実施)』として41件が承認され、2件が追加検討を依頼されました。さらに、先行プロジェクトの内容を記載するフォーマットも承認されました。

基本理念

斐伊川の源流をなす森や清流などの豊かな自然環境の恵み、魅力ある歴史文化などの地域資源、及び尾原ダム周辺の様々な施設等を、地域内・斐伊川流域圏の連携によって総合的に活用し、尾原ダム水源地域の自立的・持続的な発展を目指します。

地域の目標像

斐伊川流域圏の連携による尾原ダム周辺地域の自立的・持続的発展

基本方針

- ◆水源地域を結び、拓く
- ◆流域圏の恵みの源を守り、育む
- ◆さくらおろちの魅力を磨き、活かす

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト
水源地域を結び、拓く 水源地域の多様な関係者の結びつきによって取組の体制を充実し、地域の自立的・持続的な発展を拓いていきます。	I. 人材の活用 II. 組織の整備 III. 企業との連携 IV. 斐伊川流域圏の連携 V. 情報発信	(1) 人材の活用 (2) 組織の整備 (3) 企業との連携 (4) 斐伊川流域圏の連携 (5) 情報発信	(1)-1 人材の発掘・活用、(1)-2 接客技術(おもてなしの心)の向上 (1)-3 教育機関(大学等)との連携 (2)-1 関連事業・組織との連携、(2)-2 リーダーの育成 (3)-1 企業との連携(CSR活動) (4)-1 下流域からの支援、(4)-2 上下流域交流、(4)-3 流域間交流 (5)-1 情報発信の促進(ホームページ、カレンダー、年賀状等) (5)-2 フィールド・コミッションの推進
流域圏の恵みの源を守り、育む 斐伊川流域圏の暮らしや産業の恵みの源である水源地域の森や水などの自然環境を守り、育んでいきます。	VI. 環境の保全 VII. 景観保全・整備	(6) 森林の保全・維持管理活動 (7) 河川の水質の保全 (8) 生物の生息環境の保全 (9) 環境学習会等の開催 (10) ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	(6)-1 森林の整備・管理、(6)-2 ボランティア活動の実施 (7)-1 水質の保全、(7)-2 ビオトープの整備 (8)-1 生息環境の保全(動物、植物)、(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策 (9)-1 環境学習会の開催(森林、水質、水生態、水文化) (9)-2 体験プログラムの企画・開催(園遊・農業体験) (10)-1 ビューポイントの整備・活用(むかし、のぼり) (10)-2 クラスやカヌー等の対策・整備、竹ボートの整備 (10)-3 ダム湖周辺の緑化(サクラ、ドウダンツツジ)
さくらおろちの魅力を磨き、活かす さくらおろち湖と水源地域が有する歴史、文化、自然などの資源を魅力として磨き、活かしていきます。	VIII. 自然環境の活用 IX. ダム周辺の既存施設の活用 X. 歴史・文化の継承 XI. 新たな魅力・資源の発掘 XII. 交流イベント(既存)の開催	(11) 農村や周辺の景観の保全・改善 (12) 森林の保全・活用 (13) ダム本体の活用 (14) サイクリング施設の活用 (15) さくらおろち湖の活用 (16) 既存施設等の活用 (17) 神話の継承・活用 (18) 郷土料理の継承・活用 (19) 地域文化の継承・活用 (20) 新たな魅力・資源の発掘・活用 (21) 「地域全体」の発掘・活用 (22) 漁業資源の育成と活用 (23) 特産品の開発・販売 (24) 湖面イベントの開催 (25) 湖畔イベントの開催 (26) 周辺イベントの開催・継続	(11)-1 農地保全の仕組みづくり、(11)-2 農村景観の向上(ミックスフラワー) (12)-1 森林の活用促進(森林セラピー・森の健康園) (13)-1 尾原ダムの魅力発信(ライトアップ、クリスマス等) (13)-2 キープロジェクト (14)-1 サイクリングコースの活用・PR(認定コース、シャトルコース) (14)-2 レンタサイクルの整備、(14)-3 サイクリングコースの改善 (15)-1 湖岸利用の活性化(水辺利用バス、シーカヤック、ボート等) (15)-2 さくらおろち湖の魅力発信、(15)-3 釣り解禁(9月・大会・施設整備) (16)-1 歴史・文化等の活用促進、(16)-2 農村研究施設の利用促進 (16)-3 森林セラピーの活用促進、(16)-4 養蚕・登山道の活用(南信濃道、老成山) (16)-5 利用ルールの策定・周知(湖岸利用の手引き等) (16)-6 新たな活用策の検討(星空観察会、ドックラン等) (16)-7 イベントの企画・立案(交流、花火等) (17)-1 出雲神話の活用・PR(マップ作り、関連ツアー) (18)-1 郷土料理の継承・活用(漬物、(18)-2 モニターツアーの開催 (19)-1 古民家の活用 (20)-1 温泉の活用(スタンプラリー) (21)-1 観光資源の再整備、(21)-2 地域体験ツアーの開発 (22)-1 漁業資源の創出(ワカサギの放流) (23)-1 特産品の開発・販売促進 (24)-1 ボート大会の活性化 (25)-1 音楽イベントの開催、(25)-2 サイクリングイベントの開催 (25)-3 さくらおろち湖祭りの開催 (26)-1 さくらおろち交流会の開催、(26)-2 テレランニングの開催

▲策定委員会の様子

編集後記

2月初旬開催予定の「第4回さくらおろちを活性化させる会」では、本委員会で承認された「先行プロジェクト」の内容(取組事項、実施主体、役割分担など)を議論する予定です。

【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
 ・雲南市 ダム対策課
 ・奥出雲町 地域振興課
 ・島根県 雲南県土整備事務所

・島根県 斐伊川神戸川対策課

・国土交通省 出雲河川事務所管理第二課



尾原ダムキャラクター「すきのおくん」

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

第6号 (H25.2.13発行)

第4回「さくらおろちを活性化する会」を開催しました

▲意見交換の様子

▲さくらおろち湖周辺及び湖面利用の手引きハンドブック(案)

尾原ダム

12